

年頭のご挨拶



月潟村長 金子 由征

謹んで新年の

御祝詞を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。謹んで村民の皆様様に新春のお慶びを申し上げます。さて、地方財政の現状は景気低迷に伴う税収の伸び悩みや、景気対策による国債負担の増などによりまして、平成14年度末の借入残高が19.5兆円にも達すると見込まれるなど危機的な状況が続いている中にありまして、地方分権の進展に伴い、地方自治体が担う役割はますます増大し、少子・高齢化の進展に伴う地域福祉政策の推進、資源循環型社会の構築に向けた環境施設の推進、生活関連社会資本の整備、地域産業の振興、育成対策など地域の実情に即した施策を積極的に展開していく必要があるとされております。このような背景もありまして、全国的にも市町村合併への動きも急加速して参りました。

現在、12市町村による任意の新潟地域合併問題協議会では田園型政令指定都市の実現を目指すことを決議するとともに、合併に係る諸問題を協議しておるところでありまして、本年の9月頃を目途に大方の協議を終え、行政制度の取り扱い方法や、新しい町づくりの計画などについて住民の皆様にご説明することと致しております。

合併特例法の期限であります平成17年3月末迄を考えますと、本年が正に合併について住民の皆様からご判断をして頂くに極めて大事な年になろうかと思いをいたしておるところであります。

平成15年度に向かつての取り組みにつきまして、主なものを述べさせていただきます。その一つは、合併協議と併行しつつ、地域の伝統や文化を保存し活用していくかが、重要な課題であると考えております。

唯一の伝統芸能であります角兵衛獅子を村の財産として、又、新たな名所としての賑わいが創設できるよう、故美空ひばりさんが歌われた「越後獅子の唄」の歌碑の建立等について有志を募り、住民らによる組織の手によって取り組みを進めて参りたいと考えておるところであります。

保健福祉(2032)

誰もが健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることが出来る社会を築くことは、全ての住民の願いであり、ライフステージに応じたきめの細かい福祉施策を展開してまいります。

乳幼児の医療費助成、保育園におけるゼロ歳児保育や延長保育、また小学校低学年を対象とした学童保育を充実しながら、安心して子育てができる環境整備に努め、高齢化対策としては、健康で自立した生活の延伸が図れるよう、介護予防や健康相談などの事業を通して実現してまいりたいと考えております。

また、4月からは、障害のある方に対する支援費制度をスタートし、ノーマライゼーションの実現に向けて努力をしてまいりたいと考えております。医療技術の高度化や高齢化の急速な進展のなかで、各々のライフステージに対応したキメの細かい健康診査や保険事業を展開しながら健康維持を図り、医療費の支出を削減して、国民健康保険加入者の税負担の軽減にも努めてまいります。

農業振興(2032)

昨年末、コメ政策改革大綱が発表され、平成20年からは農業者団体による自主的な生産調整に移行するとされたことや、依然深刻なコメ余りを背景に今年産は5万ha増の過去最大規模10.6万haとなるなど大変厳しい状況であります。

また、担い手の減少や高齢化の進行、加えて産地間競争が激化し米価の低下も憂慮され、これからは売れるコメ作りと担い手対策への構築が急務であります。このため、地域の実態に即した「地域農業システムづくり」を推進するとともに、稲作や水田を活用した大豆等の生産を拡大する土地利用複合営農を進め、農地の流動化生産コスト

トの低減、消費者ニーズに対応する生産体制を整備しつつ、経営の安定化に努めて参ります。また、無登録農薬問題等で食に対する不安が身近に起き、「食の安全」を強く求めており、産地として信頼確保に最善を尽くして参ります。

商工振興(2032)

依然として、景気の足取りは重く、先行き不透明で個人消費の低迷も続く厳しい状況にあります。商工業者の経営安定と発展を基本に据えながら、経営の近代化、合理化の推進、融資制度の充実等を商工会と連携しながら商工業の振興に努めてまいります。

更に、雇用の場を確保するため、企業誘致にも積極的に努力して参ります。

土木事業(2032)

事業着手3年目を迎える農村総合整備事業・曲通地区は、上曲通、下曲通地内における集落道の整備、消雪パイプの布設、遊歩道の整備等に取り組んでまいります。

工事に着手して6年目を迎える下水道事業は、上曲通地内を中心に管渠工事を進め、平成18年度に予定されている一部供用開始に備えます。

簡易水道(2032)

水需要の低迷が長期化傾向にあり、さらに施設改善費返済額の増加等により、財政は依然として厳しい状況に置かれています。今後も、健全化に向け一層努力しながら、安全で良質な水の安定供給を図るため、老朽管の布設替を推進してまいります。

防災(2032)

引き続き白根地域消防本部を中心に消防団との広域的な連携により組織の強化を図って参ります。

教育(2032)

学校教育では、小・中学校に補助教員を配置し、各教科や総合的な学習の時間で、読み・書き・計算などの基礎・基本の確実な定着を図るとともに、生活体験、文化・スポーツ体験や異年齢交流を通じて、自ら学び、自ら考える力を育ててまいりたいと考えております。

また、学校教育におけるコンピュータを中心とした情報教育の重要性が益々高まってきている状況から、小学校に設置しておりますパソコンの再整備を図ってまいります。

生涯学習の推進に関しては、公民館、図書館、陶芸館などを、地域住民の学習拠点として位置づけ、社会教育活動の一層の充実に努めてまいります。

年頭にあたり、所信の一端を述べましたが、本年も円満で活力のある村づくりに向け、全力をあげて取り組んで参る所存でありますので、ご理解を賜りますとともに、新しい年が皆様にとりまして辛多く輝かしい年でありますようご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。